

令和2（2020）年度 長岡大学シラバス

授業科目名	労働経済学（Labor Economics）					担当教員	石川英樹 （イシカワ ヒデキ）		
科目コード	393113-14140								
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	3年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
労働経済学の基本である①労働市場の仕組みと機能、②労働者の意思決定、③企業の採用についての意思決定、について学ぶ。また、卒業後に社会人として労働者として就業することを見据え、労働を巡る様々な現実の問題・現象について関心や疑問を抱き、説明や評価ができる能力の醸成を目指す。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
専門的知識・技能を活用する能力を育成する授業である。									
③ 授業の進め方・指示事項									
毎回、配布資料により解説を行い、演習問題による理解の確認と知識定着を進める。期末試験に加えて数回の小テストにより、平素からの学びの成果を確認する。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「マクロ経済学」「ミクロ経済学」「経済政策」									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 労働市場の需要・供給に対して理解し説明できる。									
(ii) 年功賃金、労働組合、最低賃金制度などの制度等について理解し説明できる。									
(iii) 賃金格差、失業、若年者の就業など現実の課題等について理解し説明できること。									
⑥ テキスト（教科書）									
特にもうけない。各回、必要に応じて資料・レジュメ等を配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
大竹文雄(1998)『労働経済学入門』日経文庫。									
太田聰一・橘木俊詔『労働経済学入門 新版』有斐閣。									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%				30%		100%
(i) 労働市場の需要・供給	20%	10%				10%		40%

について								
(ii) 年功賃金、労働組合、最低賃金制度などの制度等について	20%	5%				10%		35%
(iii) 賃金格差、失業、若年者の就業など現実の課題について	10%	5%				10%		25%
フィードバックの方法	前期末試験結果、小テスト結果は返却して解説する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
今年度から担当。労働・就業に関する現実の様々な問題を題材にして、労働に関する社会現象に対する理解力・説明力を向上できるような授業を目指す。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	オリエンテーション	筆記用具	配布資料の振り返り	60分
2	労働市場の概観～労働市場とは何か	筆記用具、前回配布プリント	配布資料による労働市場の概要の振り返り	60分
3	経済学で捉えた労働市場～需要と供給	筆記用具、前回配布プリント	配布資料による振り返り、ミクロ経済学の均衡の復習	60分
4	労働供給について	筆記用具、前回配布プリント	配布資料による労働供給決定の振り返り	60分
5	労働需要について	筆記用具、前回配布プリント	配布資料による労働需要決定の振り返り	60分
6	年功賃金制度について	筆記用具、前回配布プリント	配布資料による年功賃金制度の振り返り	60分
7	長期雇用制度について	筆記用具、前回配布プリント	配布資料による長期雇用制度の振り返り	60分
8	労働者のキャリアと昇進	筆記用具、前回配布プリント	配布資料による労働者のキャリアと昇進の振り返り	60分
9	労働組合の役割	筆記用具、前回配布プリント	配布資料による労働組合の役割の振り返り	60分
10	賃金格差について	筆記用具、前回配布プリント	配布資料による賃金格差についての振り返り	60分

11	正規労働と非正規労働について	筆記用具、前回配布プリント	配布資料による正規労働と非正規労働についての振り返り	60分
12	失業と労働市場	筆記用具、前回配布プリント	配布資料による失業と労働市場についての振り返り	60分
13	最低賃金制度等について	筆記用具、前回配布プリント	配布資料による最低賃金制度等についての振り返り	60分
14	働き方改革、若年者の就業、就職活動等について	筆記用具、前回配布プリント	配布資料による若年者の就業、就職活動についての振り返り	60分
15	全体の振り返り	筆記用具、前回配布プリント	配布プリントの演習問題に取り組む	90分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。新聞記事などを用いた現実の現象説明への応用にも取り組む。公務員試験の過去問等の活用による演習も取り入れる。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性